

東京理科大学幾何学セミナー

講演者：佐藤 肇 氏 (名古屋大学名誉教授)

題 目：強擬凸 CR 多様体, Toeplitz 作用素と指数定理

日 時：2022 年 12 月 9 日 (金) 16:30–17:30

場 所：野田キャンパス 4 号館 3 階 数学科セミナー室

概要

強擬凸 CR 多様体上の“正則関数”の空間にシンボル関数を掛けてからその空間に射影する作用素は Toeplitz operator と呼ばれ, operator 全体は, 連続関数とコンパクト作用素のなす C^* -代数の extension を与える, これは, 位相幾何で定義される ホモロジー K_1 群に対応する. 多様体の接束と同相である Grauert tube の境界上などで, 微分作用素と幾何が関係する指数定理を概観する.

※ 今回は理工学部数学科談話会との合同開催となります。

世話人

田中 真紀子 (理工学部数学科)	tanaka_makiko@ma.noda.tus.ac.jp
小池 直之 (理学部第一部数学科)	koike@rs.kagu.tus.ac.jp
廣瀬 進 (理工学部数学科)	hirose_susumu@ma.noda.tus.ac.jp
佐古 彰史 (理学部第二部数学科)	sako@rs.tus.ac.jp
佐藤 隆夫 (理学部第二部数学科)	takao@rs.tus.ac.jp
大橋 久範 (理工学部数学科)	ohashi_hisanori@ma.noda.tus.ac.jp
山川 大亮 (理学部第一部数学科)	yamakawa@rs.tus.ac.jp
馬場 蔵人 (理工学部数学科)	baba_kurando@ma.noda.tus.ac.jp